

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら網島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	年齢や特性に応じて振り分けている。部屋割りの際スペースを考慮して行っています。	フィードバック中など一時的に密になることがあるため、人数によって場所の使い方を工夫していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	8	0	お子さんの発達段階や人数も考慮し、ソフト作成の段階で適切に配置しています。	適切な人数を配置しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	部屋毎に名前をつけて何をやる場所なのか用途を分かりやすくしています。お子さんに合わせて写真やイラストなどの視覚補助を使用して分かりやすく提示しています。刺激を減らした配置を意識しています。	段差がある場所や、壁のへりなどカバーができていない箇所があることが課題です。手すりなどの設備がないため、多くの方に適した環境設備ができるよう出来ることから改善していきたいです。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	フローリングへと改修工事を行うことで清潔な環境が担保されました。お子さんによって、机や椅子の高さを変えて使用しています。月1回のクリンネスチェックにより普段できない掃除も定期的に行い清潔な環境を保持しています。	一部狭い場所など危険な箇所があるため、引き続き周知していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	8	0	目標や課題についての振り返り等、その都度話し合う機会を多く設けています。教室毎の目標なども全体で共有しています。	スタッフ全体で進めることができるよう、引き続き努めていきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	職員全体で結果を共有し、改善に努めている。	職員全体が保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	事業所向け自己評価表や、保護者向け評価表の結果を、ホームページ等で開示しています。	改善内容までは周知できていないため、改善方法などの伝達の仕方を検討していきたいです。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	外部評価は行っていません。	検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	自社のツールを使用して行ったり、外部研修に参加したものを持ち帰って共有するなど、定期的を実施しています。	年間スケジュール等を立てて計画的に実施できるよう努めていきます。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	自社独自のアセスメントツール使用して課題の洗い出しを行ったり、保護者からの要望を組み込みながら作成しています。	支援の充実化を図っていきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	自社独自のアセスメントツール使用しています。職員によって、評価のばらつきがあるため複数名で行っています。	支援の充実化を図っていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	お子さんや保護者のニーズに合わせて、必要に応じた支援の提供を行っています。	支援の充実化を図っていきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	長期・中期・短期目標を立て、支援計画に沿った支援を提供しています。苦手意識を持たないようプログラムの工夫をしています。	支援計画書に記載されている課題だけでなく、発達段階に合わせて支援の充実化を図っていきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	個人で立案するケースの場合も、打ち合わせで全体共有を行い意見交換しています。	積極的な意見交換を行いより良い支援ができるよう努めていきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	前回の振り返りを参考に同じ活動でも変化をいれるよう工夫したり、随時プログラムの立案・共有を行っています。	積極的な意見交換を行いより良い支援ができるよう努めていきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	子どもの特性や発達段階、保護者要望を踏まえた上で、適宜組み合わせで作成しています。	固定の状況によっては適正な組み合わせが難しいことが課題となるが、毎年毎の時間割策定の段階でそこも含めた検討ができると望ましいと思っています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼・昼礼を実施し、受け入れ態勢を整えている。前回の担当者から引継ぎを行い全体で共有しています。	引き続き、職員全体で情報共有を行っていきます。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	終礼時にお子さんの様子や、ヒヤリハット事例等を共有しています。他者の療育に入った際には適宜フィードバックを行い、より質の高い支援ができるよう努めています。	引き続き、職員全体で情報共有を行っていきます。
⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	来所時のお子さんの様子や体調、数値や手立て等を細かく記入し、次回の担当者が分かりやすいように記録しています。	担当者が固定されていない分、簡潔且つ分かりやすい記録の書き方を随時研修等を実施して共有していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1	定期的にモニタリングを行っています。	周期で行うと子どもの成長の程度が分かりやすくなるため、グラフにする等工夫していきたいと考えています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	3	常日頃から全体で情報共有しています。	管理者や児童発達管理責任者が主に参画しています。今年度はコロナ感染予防のため参加機会が少なかったですが、今後も引き続き対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	4	必要に応じて対応しています。	必要に応じて連携を行っています。保護者のニーズに応じて他機関との情報共有を強化していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8	該当児童なし。	必要に応じて対応していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	6	該当児童なし。疾患のあるお子さんについては、提携医療機関の連絡先や担当医などの必要な情報は、保護者より事前に共有してもらっています。	必要に応じて対応していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	直接の交流は少ないが、保護者のやお子さんのニーズに合わせて紙面や電話でのやりとりを行っています。	必要に応じて対応していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4	直接の交流は少ないが、保護者のやお子さんのニーズに合わせて紙面や電話でのやりとりを行っています。	必要に応じて対応していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	7	モニタリング時に情報共有を行っています。	他機関との連携においてはまだ関係が薄いため、今後強化が必要と考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	実施機会なし。	必要に応じて対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6	必要に応じて参加しています。	積極的に参加できるようにしていきたいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	フィードバックや面談時など、お子さんの課題や、できるようになったことを共有し、共通理解が図れるよう努めています。	引き続き、お子さんの少しの変化も見逃さないよう、保護者の方と密なコミュニケーションを図っていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	7	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	研修の開催などニーズに合わせて今後検討していきたいです。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に分かりやすく説明するよう努めています。	保護者の方全員が共通理解できるよう、掲示やメール等で適宜周知していきたいです。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	分かりやすく丁寧な説明を心がけています。	支援の充実化を図っていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者の方が話しやすいような環境設定を心がけています。必要に応じて面談などの対応を行っています。	支援の充実化を図っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	実施機会なし。	必要に応じて対応していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	相談や申し入れがあった際には、間をあげずなるべく早めに対応できるよう努めています。職員間での情報共有を徹底しています。	引き続き、迅速且つ丁寧に対応できるよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	定期的に更新しています。	入口に掲示をしたり、メールなどで事前に周知しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	書類等は鍵付きの書庫で管理しています。フィードバック時に話が他者に漏れないよう席の配置等配慮しています。	引き続き、十分に気を付けていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	一人一人に合わせた、分かりやすい対応を心がけています。	子どもや保護者のニーズに応じて配慮していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	例年そらコンサートを実施し、地域の方にも参加してもらえるようにしています。	今年度は新型コロナウイルス感染対策の為、実施できませんでした。感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	定期的にマニュアルの読み合わせや訓練を実施しています。	マニュアルの読み合わせだけでなく、いざという時に全職員がすぐに対応できるよう努めています。保護者への周知に関しても分かりやすく伝えられるよう、提示方法等検討していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	定期的に訓練を実施しています。	マニュアルの読み合わせだけでなく、いざという時に全職員がすぐに対応できるよう努めています。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	契約時や面談時に確認しています。	引き続き注意していきます。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	個人シートにて管理しています。食育イベントの際にも、事前に食品の詳細を周知しています。	引き続き注意していきます。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	終礼時や、毎月の振り返え時に、全体で共有している。	引き続き注意していきます。研修などを通して一度起こったものは繰り返さないよう努めています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	定期的な研修を実施しています。虐待防止の観点から、日頃から職員間でも密なコミュニケーションを図るよう努めています。	定期的に研修機会を設けていきます。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	可能性がある児童に関しては事前に説明して同意を得ています。	該当児がいる場合には、引き続き必要な手続きを踏んでいきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。